

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名				海水浴場開設事業				②事業番号		3424				
③事業類型		3. 政策推進事業			④開始年度		平成 7 年度	⑤終了予定年度		年度	○ 設定なし			
⑥根拠法令等		法令	条例	規則	要綱	計画等	○ その他	法令等の名称				りんくう南浜海水浴場管理会規約		
⑦実施手法		直営	全部委託		○ 一部委託		補助・負担		その他					
⑧関連予算科目コード			款		6		項		1		目	5	細目	3
⑨担当部名			⑩担当課名											
市民生活環境部			産業観光課											
							会計		一般会計					

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 人口	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
関西国際空港、六甲山脈、淡路島を臨むロケーション抜群のタリイサザンビーチにおいて開設者が泉南市、管理運営をりんくう南浜海水浴場管理会へ委託し、海水浴場を開設していたもの。令和元年度からはりんくう公園の開園を目前に控え、運営体制の刷新を図っている。	① 海水浴場開設日数	日
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
タリイサザンビーチといった市内有数の観光資源を活かし、7月から8月にかけて、海水浴場を開設し、多くの集客を図る。	① 来場者数	人
	②	
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
海水浴場で夏の一大イベントを実施し、にぎわいの場を創造する。	政策(章)	3 産業の活力が増し、にぎわいと交流が生まれるまち
	施策大(節)	4 豊かな地域資源を有効に活かし、さまざまな人々が行き交う観光・交流のまちをめざします
	施策中	2 観光事業の振興
	施策小	3 イベントなどの開催

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	人口	人	62,549	61,984	61,457	—	—	温暖化やレジャースタイルの変化による来場者の減少傾向が続く中、令和元年度は天候不順により例年よりも開設日が減少したため、来場者数にも大きな影響がみられた。
対象指標②								
活動指標①	海水浴場開設日数	日	41	40	36	—	—	
活動指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
活動指標③								
成果指標①	来場者数	人	34,260	27,940	19,231	—	—	
成果指標②								令和元年度より樽井漁業協同組合および公園事業者の協力を得て海水浴場を開設しており、それまで計上していた負担金が不要となった。
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.40	0.45	0.36	0.36		
	正職員	人	0.02	0.05	0.82	0.82		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	3,276	3,812	5,571	5,571		
	直接事業費	千円	617	617	9	9		
	総事業費	千円	3,893	4,429	5,580	5,580		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	3,893	4,429	5,580	5,580		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	りんくうタウンのまちびらきに合わせ、平成7年より泉南市の貴重な観光資源であるタリイサザンビーチに海水浴場を設置することで、多くの集客を図り賑わいの場を創造するため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	レジャーの多様化、少子化、地球温暖化等により年々来場者が減少傾向にある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	にぎわいの場の創出のためのイベントとして、定着している。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	泉南市が開設し、安全、安心な海水浴場の運営することで、たくさんの市民の憩いの場として機能している。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	市民にとって、綺麗で、安全な海水浴場の運営が必要不可欠である。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	廃止は、海水浴場の廃止に繋がり、観光振興の視点から逆行することになる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	来場者数は、減少傾向にあるが、安全で美しい海水浴場として、遠方よりの来客も多い。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	イベントの実施等により、来場者数の増加を図る。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	市で負担しているのは許認可に伴う手数料のみであり、運営そのものには公費は支出していない。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	実質民営化が図られており、運営を通じた利益は事業者によって海水浴場の充実にあてられる。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	地元漁業組合やりんくう公園事業者の協力のもと、今後も安心安全な海水浴場の運営を図っていく。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(____ 年まで) (____ 年から) (____ 年から)
	↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	安心、安全に海水浴を楽しんでもらえるように、水難事故防止のため監視台を増設することで監視体制を充実させ、また熱中症対策のため来場者に注意喚起する場内放送の回数を増やすなど、常に安全面の強化を図っていく必要がある。	
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	全国的に海水浴離れが顕著ななか、来場者の増加を図る取組を行う必要がある。安全面の充実を通じたイメージアップを図るほか、りんくう公園との共同イベント開催を検討、実施する必要がある。	